専任教員の育児による勤務時間短縮等の取扱いについて

育児休業等に関する規程第15条第1項に規定の勤務時間の短縮等に関して、専任教員については、下記の通り取り扱う。

記

「育児休業等に関する規程」

(勤務時間の短縮等)

第15条 3歳に満たない子を養育する教職員は、申出ることにより次の1及び2の措置を受けることができる。ただし、日々雇用される者及び所定勤務日数が週2日以下の者(専任の教員を除く)はこの限りではない。

- 1 所定勤務時間の短縮。
- 2 時間外勤務及び休日勤務の免除。

規程上の措置	教員への取扱
①勤務時間の短縮 ※短縮できる勤務時間は、原則として1日2時間以内(第14条第3項)	担当すべき授業時間数を2時間(1コマ)軽減
②時間外勤務及び休日勤務の免除	休日における授業・オープンキャンパス・入試業務等の免除 ※授業については、補講により、当初の授業回数を確保してください。

以上

2012(平成24)年12月11日常務会 承認

【参考】

「育児休業等に関する規程」

(育児のための時間外勤務の制限)

第16条 小学校就学の始期に達するまでの子を養育する教職員が当該子を養育するために請求した場合には、就業規則第21条の規定及び時間外労働に関する協定にかかわらず、事業の正常な運営に支障がある場合を除き、所定労働時間を超えて時間外勤務させることはない。ただし、次に掲げる者を除く。

- 1 日々雇用される者。
- 2 継続する雇用期間が1年に満たない者。
- 3 1週間の所定勤務日数が2日以下の者(専任の教員を除く)。